

の尊さを示す日である。此日地球は萬國の労働者の喊聲に依つてその表面を包まれる事であらう。そして世界の労働者は國境を隔て、互に堅い手を握り合ふのである。

併し斯う言つたからといつてメイ、デーが最初から労働者の祝日であつたと早合點してはならない。労働祭以前のメイ、デーにはお伽噺のやうな美しい物語が残されて居るのだ。

### △美しき者は女王に

往昔西歐では、恰度我が國の節句のやうに五月一日を祝ふのが慣習であつた。此日うら若い男女は野に出で花を摘み纏て互に手をつないで五月姫を中心に五月柱(花や紐で飾つた柱)恰好は火消の

纏りに似てゐる)の周圍を廻つては踊り興するのであつた。五月姫にはその界限で一番美しい處女が選ばれた。彼女の美しい金髪の上には美と榮譽とを象徴する香り高い花の冠が載せられた。彼女は人々の喝仰の的になつた。若い男の胸は躍つた。彼女の頬は幸福に酔つて瑤瑤のやうに火照つた。斯うして若い男女は此日一日を花の中に踊り狂ふのであつた。夫れがその後一轉して青服を纏ふた労働者が叫ぶるやうに労働歌を唄ふ日にならうとは、餘りに變化の激しい局面轉換であつた。今でも西歐の僻陬な地では五月姫を選び、五月柱を立て、昔年らのメイデーを祝ふてゐる處もあるといふが、メイデーの看板は最早元祖の家から新店の方に移されて了つてゐる。今日メイデーと言へば夫れは労働祭日と解して毫も差支へはないのだ。